



次なるステージに向かつて

さらなる躍進を

令和5年度一般会計当初予算は

761億円でスタート

令和5年市議会第1回定例会の冒頭で内田市長が述べた施政方針の要約

新型コロナウイルスの感染が国内で初めて確認されてから3年が経過し、この間、社会経済や私たちの生活は大きく変化しました。一方、社会の変化は私たちに新たな学びや価値観を与えた面もあり、今後、社会経済活動の正常化が期待される中、これまで積み重ねてきた施策と新たな知見を活かし、市民の皆さまと共に輝く未来の浦安を創っていく所存です。

次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つためには、安心して出産・子育てができる環境と、子どもが温かい人間関係の中で、学び、育つことができる環境が必要だと考えています。

出産・子育て世代を支える支援を充実させるとともに、子どもの健全な育成の場の整備、一人ひとりに合わせた学習機会の提供を行うなど、地域全体で子どもを育む社会を形成していきます。

今後、さらに進展する高齢社会において、すべての市民が健やかに自分らしく生活できるよ

う、助けを必要とする方を支える仕組みとともに、多様化・複雑化していく福祉ニーズへの的確な対応が必要であると考えています。

そのために、一人ひとりの環境や背景に合わせた、きめ細やかな支援や、市民同士の交流を促進し、誰一人取り残さない、つながりと安心を感じられる地域社会を形成していきます。

発生が懸念されている大規模地震や、近年、甚大な被害をもたらしている風水害など、私たちが脅かす災害のリスクが高まっている中、災害に強いまちとするためには、地域の防災力など災害対応力の向上、治水や耐震化など都市基盤の強化が必要であると考えています。

あらゆる災害から、市民の生命・財産を守るため、災害に強い市街地の整備や、多様な主体が協力し、助け合える仕組みの充実、消防・救急体制の強化といった、市民が安心して暮らせるまちづくりに努めていきます。

コロナ禍の人流抑制は、社会経済活動や地域

活動の停滞をもたらし、本市においても、観光業や地域イベント、地域コミュニティに大きな影響を与え、まちのにぎわいと活力を減退させました。

本市の魅力をさらに高め、市内外への積極的な発信を行うことで、新型コロナウイルス感染拡大前を上回るにぎわいと活力を創出し、市民が誇りと愛着を持てるまちを形成していきます。

私のまちづくりの基本理念である、市民の「安心」「笑顔」「活力」のため、総合計画に掲げる将来都市像「人が輝き躍動するまち・浦安～すべての市民の幸せのために～」の実現に向け、市民の皆さまと共に力強く市政を推進していきます。

施政方針の全文は市ホームページでご覧になれます